

長崎出島支部 9月例会

普段の例会で出来ないような内容の例会 「同友会そこまで言って委員会」

9月例会は急遽報告内容が変更となり「同友会そこまで言って委員会」というテーマでのパネルディスカッション方式の例会となりました。

例会内容の変更が5日前で準備期間が短かったようですが、①過去の例会DVDを流す②他支部の最近の報告者に依頼③普段の例会で出来ないような内容の例会を行う。など急遽報告者が報告出来なくなった際の対応マニュアルの作成の必要性が話し合われる「例会準備」についても意味ある例会となったようです。パネルディスカッションは●会歴が長い会員2名●積極的な反活動を行っている若い班長2名●出島支部長、副支部長の6名がパネラーとなり、MC1名を加え7名での進行でした。

テーマは「同友会に入会した動機」から始まり「会員増強・例会出席率への考え方」「例会後の懇親会・二次会の考え方」などがメインでしたが、質問の仕方も「同友会を辞めようと思ったことはありませんか?」「なぜ辞めてないんですか?」「例会は楽しいですか?」「増強は必要と思いますか?」「例会出席率の向上のために電話での出席勧誘で、電話される側もする側も、正直ストレスではないですか?」等なかなか人前で本音で話せないような内容の質問をされ、ときにはパネラーでない会場の出島支部会員や時には他支部のオブザーバーにまでマイクを回し、すばらしい熱のこもった盛り上がりでした。テーブルディスカッションは省略し、無記名のアンケートとしたため、テーブルディスカッションが90分と長丁場だったのですが、参加した皆様もあっという間に終わったように感じたのではないのでしょうか。懇親会でも、各テーブルでテーブルディスカッションでのテーマの話題でもりあがり、懇親会中に4名もの会員が来年度班長になりたい!と立候補されました。

通常例会とは違った形となりましたが、非常に実りある例会だったと思います。

(文責 中原一也)

山口奈津江さんの「生きるって、しあわせだな～火葬場より」の報告は、当初のご案内とは違って急遽変更となりましたが、また別の機会になる事と思いますのでご期待頂ければと思います。